



— 2026年11月28日～29日 —

開催場所 北海道医療センター附属札幌看護学校

ALS O (AdvancedLifeSupportinObstetrics) とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を身につけ、発展・維持するための教育コースです。1991年に考案され、1993年に米国家家庭医学会 (AAFP) によって認可され、現在、全米のほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALS Oを受講することが義務付けられています。また、ALS Oコースは世界的に普及活動が行われており、2009年までに50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALS Oコースを完了しています。日本では2008年に金沢大学の周産期医療専門医養成支援プログラムグループが、米国家家庭医学会 (AAFP) から日本でのALS Oセミナー運営権を取得し、2008年よりプロバイダーコース、インストラクターコースを開催しており、2024年9月までに国内開催数は400回を越え12,621名がプロバイダーコースを取得されています。

ALS Oコースは、シラバス (教科書) を用いたレクチャー、実地訓練のためのマネキンとシミュレーターを使用したワークショップ、コース終了時に行われる筆記試験、マネキンによる実技試験 (メガデリバリー) から構成されています。ALS Oコースの内容は補助経腔分娩、肩甲難産、分娩後異常出血、妊婦蘇生など様々な状況における産科救急の対処法を中心としていますが、出産前のリスク評価、妊娠初期・中期・後期の性器出血、妊娠合併症、出産危機における両親のサポートなど、マタニティケアに必要な要素がすべて含まれています。プロバイダーコースを完了し、試験に合格すれば3年間有効の認証を受ける事が出来ます。



主 催：北海道周産期医療救急支援の会(HOPPIE)

共 催：札幌市、WIND

日程：2026年11月28日、29日 両日とも会場での演習となります

事前学習：e-learning (必修12コマ、受講後テストあり)

会 場：北海道医療センター附属札幌看護学校 (次頁参照)

定 員：24名 一般公募あり 受講料 30,000 円

応募期限・方法：2026年 9月28日 (月) まで

右のQRコードよりフォームに入りお申し込みください

URL: <https://forms.gle/6qcwD1PQKD83nbwd8>





11月28日（土） | DAY 1

時間	プログラム
08:30-09:00	講師ブリーフィング
09:00-09:15	受講者受付
09:15-10:05	オープニング&マタニティケアの安全性
10:05-10:10	休憩
10:10-11:40	分娩中の胎児監視 症例検討
11:40-11:50	休憩
11:50-12:00	正常分娩助 骨盤位分娩レクチャー
12:00-12:25	分娩助演習
12:25-13:10	昼休憩 ランチョンセミナー
13:10-14:00	補助経産分娩
14:00-14:15	OP
14:15-14:25	休憩
14:25-15:15	肩甲難産
15:15-15:45	休憩
15:45-16:15	実技試験Ⅰ
16:15-16:25	1日目クロージング

11月29日（日） | DAY 2

時間	プログラム
08:45-09:00	受講者受付
09:00-09:40	妊婦の蘇生
09:40-09:45	休憩
09:45-11:15	PPH
11:15-11:30	休憩
11:30-12:00	実技試験Ⅱ
12:15-13:00	昼休憩、ランチョンセミナー
13:00-14:30	妊娠中の内科合併症
14:30-15:15	バンドルレクチャー&ワーキング
15:15-15:25	休憩
15:15-15:45	筆記試験
15:45-16:05	エンディング・写真撮影

※ 時刻・内容は変更になる場合があります。



北海道周産期医療救急支援の会で英文表記は
Hokkaido Organization for advancement of Pregnancy, Perinatal and Infant care and Emergency treatment(HOPPIE)といいます。

この会は北海道の産婦人科、小児科、救急医療などの医療領域において、
特定非営利活動法人周産期医療支援機構(OPPIC)が活動権限を持つ
Advanced Life Support of Obstetrics (以下 ALSO)または Basic Life Support of Obstetrics (以下 BLSO)を主とした
周産期医療・救急シミュレーションコースを通して、妊娠・出産・新生児・乳児期の医療領域に取り組む志ある
医師、助産師、看護師、救急隊員等の医療従事者に対する研修を実施し、
この医療領域に携わる医療従事者を育成することによって地域医療を推進し、
地域住民の福祉厚生の増進に寄与することを目的としています。

＊本コースは総務省連携中枢都市圏施策事業に基づき、札幌市共催のもとHOPPIEが開催いたします。



ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先：開催責任者 松宮寛子（北海道大学病院）✉ hirokum601204@pop.med.hokudai.ac.jp